令 和 6 年 9 月 17 日

各　　位

米子市総務部契約検査課

入　札　説　明　書

市が行う建設工事の工事希望型指名競争入札を下記のとおり行いますから、希望があれば米子市建設工事執行規則（平成17年米子市規則第106号）及び米子市会計規則（平成17年米子市規則第44号）を承知のうえ参加してください。

記

工事希望型指名競争入札に付する工事	工　事　名	大山広域農道木の実橋補修工事		
	工事場所	米子市泉地内	工期	契約日から 令和7年3月14日まで
契約条項を示す場所		米子市総務部契約検査課		
担　当　課		農林課		
入札保証金に関する事項		入札保証金　免除		
現場説明会		なし		
開札の日時及び場所		日時　令和6年10月1日　午前10時0分　開札 場所　本庁舎202会議室		
契約保証に関する事項		請負代金の額が130万円を超える工事については、契約の締結と同時に請負代金額の10分の1以上の額を保証する次の各号の一に掲げる保証を付さなければならない。 (1)　契約保証金の納付 (2)　契約保証金に代わる担保となる有価証券等の提供 (3)　銀行若しくは市長が確実と認める金融機関又は保証事業会社（公共工事の前払金保証事業に関する法律（昭和27年法律第184号）第2条第4項に規定する保証事業会社をいう。以下同じ。）の保証 (4)　公共工事履行保証証券による保証 (5)　履行保証保険契約の締結		
前　払　金		有　　40%以内　※ただし、請負代金の額が130万円を超える場合に限る		
部　分　払		有　　回数は、米子市建設工事執行規則による　※部分払いに替えて中間前払の選択も可		
入札に関する注意事項		1.　開札前天災地変等のやむを得ない事由が生じたとき、又は競争の意思がないと認められるときは、入札の執行を中止し、又は取り止めることがある。 2.　入札参加者が1者であっても、入札を執行するものとする。 3.　入札に参加する者に必要な資格のない者のした入札及び米子市郵便入札実施要領第4条に定める入札は、無効とする。 4.　入札者は、到達した入札書は、書換え、引換え又は撤回することができない。 5.　入札者は、入札書到達後においても入札執行の完了までは入札の参加を辞退することができる。 6.　落札となるべき価格と同一価格の入札をしたものが2人以上あるときは、当該入札者にくじを引かせて、落札者を決定するものとする。この場合において、くじを引くべき入札者が、当該入札の立会者として参加している場合はその者が、参加していない場合は入札事務に関与しない職員に当該入札者に代わってくじを引かせるものとする。 7.　本件工事は、米子市建設工事最低制限価格設定要領に定める方法により、予定価格の2/3(ただし、8/10を下回る場合は、8/10とする。)以上で最低制限価格を設定しており、最低制限価格を下回る価格で入札があった場合は、当該入札者を失格とし、予定価格の範囲内の価格で入札した他の者のうち最低の価格をもって入札した者を落札者とする。 8.　入札書に工事費内訳書が同封されていない場合は、無効とする 9.　落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に10%に相当する額を加算した金額をもって落札価格（円未満切捨て（単価契約を除く。））とするので、入札者は、消費税に係る課税業者であるか免税業者であるかを問わず、見積った契約希望価格の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。 10.　入札参加者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(昭和22年法律第54号)等に抵触する行為を行ってはならない。 11.　入札回数は、1回とする。		
その他の注意事項		1.　米子市工事希望型指名競争入札実施要領に定める経営内容等が不健全な申込者及び工事成績が不良な申込者は、不指名とすることがある。また、同一入札における資本的、人的関係にある複数の申込者のうち1者のみを指名し、他の者を不指名とすることがある。 2.　申込時に届けのあった配置予定技術者の変更は、入札書差出期限まで変更可能とし、その後の変更は原則として認めないものとする。 3.　同一の主任技術者は、米子市が発注した工事（通常型指名競争入札及び随意契約によるものを除く。）に3件を超えて従事することはできないものとする。 4.　別に定める「建設工事に係る配置予定技術者の取扱いについて」における重複申込者に該当する者は、配置予定技術者重複届出書を所定の方法により提出すること。なお、入札結果により配置予定技術者がいなくなった場合は、失格とする。 5.　工事現場に配置する技術者等（主任技術者、監理技術者及び現場代理人をいう。）は、当該建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係（第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係が存在することをいう。）が申込日までに3ケ月以上ある者に限るものとする。		
施工に関する注意事項		1.　工事設計図書　別紙のとおり 2.　本工事の施工にあたっては、鳥取県制定「土木工事共通仕様書」、「土木工事施工管理基準」、「公共建築工事標準仕様書」又はその他別に定める仕様書等に基づき実施しなければならない。 3.　この契約に係る工事の施工にあたっては、ダンプカー協会加入車を優先的に使用するよう努めること。 4.　工事着手前に自治会長及び地元関係者に連絡すること。		
米子市建設工事執行規則第14条により公にする予定価格				¥18,087,300
最低制限価格　（直接工事費＋共通仮設費＋現場管理費の9/10＋一般管理費5.5/10）×1.1				

工　事　設　計　書

令和　6　年度	工事名	大　山　広　域　農　道　木　の　実　橋　補　修　工　事

部長	課長	担当課長補佐	審査	設計

設　計　金　額	円
工　　期	契約日　　から　令和7年3月14日　まで
工　事　場　所	米子市　泉　　地内
工　事　概　要	木の実橋 橋長L=39.6m（65.7m）　幅員W=8.7m 橋梁補修工　一式

米　子　市

位 置 図

数量総括表

工種区分	工　　種	種　　別	規　　格	単位	数　　量		摘　　要
					当初	変更	
橋梁保全工事							
（木の実橋）	橋梁補修工			式	1		
		ひび割れ補修工	低圧注入工法 補修延べ延長150m	構造物	1		
		断面修復工	左官工法 修復延べ体積0.75m3	構造物	1		鉄筋ケレン・ 防錆処理含む
		表面被覆工	表面含浸工法 修復延べ面積　94m2	構造物	1		高分子系浸透 性防水材
		足場		式	1		

現　場　説　明　書

令和４年８月10日改正
一般的事項１

1　仕様書

この契約において仕様書とは、特に定めのない限り「鳥取県土木工事共通仕様書」をいう。

2　下請関係の合理化について

(1) この契約に係る工事の的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は、「建設産業における生産システム合理化指針」及び「鳥取県建設工事における下請契約等適正化指針」の趣旨に則り、優良な専門工事業者の選定、合理的な下請契約の締結、代金支払等の適正な履行、適正な施工体制の確立、下請における雇用管理等の指導等を行い本指針の遵守に努めること。

(2) 中小建設業者に対する取引条件の適正化及び資金繰りの安定化等に資するため、元請業者は下請業者に対して、発注者から受取った前払金の下請業者への支払い、下請代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等、下請代金支払の適正化について配慮すること。

(3) 受注者は、下請契約を締結した場合は、施工体制台帳及び施工体系図を発注者に速やかに提出しなければならない。また、当該施工体制台帳及び施工体系図下に変更があったときは、変更が生じた日から20日以内（完成時においては、完成通知書の提出時）に変更後の書類を提出しなければならない。

(4) 工事の一部を第三者に請け負わせる場合、又は工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、市内及び県内業者（以下「市内業者等」という。）との契約に努めること（優先順位は市内、県内の順位とする）。ただし、技術的に施工又は対応できる市内業者等がいない工事等を請け負わせ又は業務を委託する場合、あるいは市内業者等で施工できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、この限りでない。

3　建設資材等について

(1) 工事に使用する資材については適法に生産されたものとする。

(2) この契約に係る建設資材納入業者との契約に当たっては、当該業者の利益を不当に害しないよう公正な取引を確保するよう努めること。

(3) 工事に使用する資材については、「県土整備部リサイクル製品使用基準」に基づき、リサイクル製品を積極的に活用すること。

(4) リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。

① 市内産の資材がある場合は、市内産の資材の使用に努めること。ない場合は、県内産について同様の取り扱いとする。

② 県外産の資材を使用する場合は、市内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「市内販売業者」という。）から購入した資材の使用に努めること。市内販売業者がないときは、県内販売業者について同様の取り扱いとする。ただし、当該資材について市内販売業者又は県内販売業者がない場合は、この限りでない。

4　工事の安全確保について

この契約に係る工事の施工に当たっては、労働安全衛生法、労働安全衛生規則等を遵守し、労働災害の防止に努め、また工事中の交通事故防止について、特に留意すること。

5　建設機械の使用について

(1) 標準操作方式建設機械を使用するよう努めること。

(2) 施工現場及びその周辺の環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。

(3) 排ガス対策型建設機械の使用については、排ガス対策型建設機械の使用基準について（平成17年11月15日付第200500080172号県土整備部長通知）によること。

6　団体加入車の使用促進について

「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。

7　ダンプトラック等による運搬について

(1) 積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようすること。

(2) さし枠装着車、不表示車等による違法運行は行わず、また行わせないようにすること。

(3) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から工事用資機材等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。

(4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等による違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。

(5) 建設副産物の処理及び工事用資機材等の搬入・搬出等に当たって、下請事業者及び工事用資機材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。

(6) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。

(7) 産業廃棄物の運搬車については、車体の外側に、環境省令で定めるところにより、産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨その他の事項を見やすいように表示し、かつ、当該運搬車に環境省令で定める書面を備え付けること。また、産業廃棄物処理業者に委託して産業廃棄物を運搬する場合、この表示、備え付けを行わせること。

(8) 以上のことにつき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

8　不正軽油使用の禁止について

工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む）並びに建設機械等の燃料として、地方税法（昭和25年法律第226号）に違反する軽油等を使用しないこと。

9　建設業退職金共済制度への加入等

(1) 建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請けを含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加入済みで、建退共に加入することができないと認められる場合は、この限りでない。

(2) 建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共加入及び証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。

(3) 受注者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。

10　建設業法の遵守について

(1) 建設業法（昭和24年法律第100号）に違反する一括下請その他不適切な形態の下請契約を締結しないこと。

(2) 建設業法第26条の規定により、受注者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者または、専任の監理技術者については、適切な資格、技術力を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事するもので、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者に限る。）を配置すること。

(3) 受注者が工事現場ごとに置かなければならない専任の監理技術者は、１級施工管理技士等の国家資格者等で監理技術者資格者証の交付を受けている者を配置すること。この場合において、発注者から請求があったときは監理技術者資格者証を提示すること。

(4) 建設業法第40条の規定により、受注者は建設現場ごとに「建設業の許可票」を掲示すること。

(5) 上記のほか、建設業法等に抵触する行為は行わないこと。

11　労働基準法の遵守

この契約に係る工事の施工に当っては、労働基準法等の趣旨に則り法定労働時間週40時間を遵守すること。

12　建設業からの暴力団排除の徹底について

(1) 工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。

(2) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。

13　現場代理人、追加技術者、主任技術者及び監理技術者の雇用関係について

(1) 工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士をいう。）は、所属建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければならない。

(2) 直接的雇用とは、技術者等とその所属建設業者との間に第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係（賃金、労働時間、雇用及び権利構成）が存在することをいい、恒常的な雇用関係とは一定の期間（３か月以上）にわたり当該建設業者に勤務し、日々一定時間以上職務に従事することが担保されていることに加え、技術者等と所属建設業者が双方の持つ技術力を熟知し、建設業者が責任を持って技術者等を工事現場に配置できるとともに技術者等が建設業者が有する技術力を、十分かつ円滑に活用して工事の監理等の業務を行うことができることをいう。

14　労働者の福祉向上について

(1) 建設労働者の適切な賃金水準の確保、社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）への加入など、労働者の福祉向上に努めること。なお、健康保険等の適用を受けない建設労働者に対しても、国民健康保険等に加入するよう指導に努めること。

(2) 下請契約の締結に際しては、下請業者へ法定福利費を内訳明示した見積書（標準見積書という。）の提示を求め、提示された場合にはこれを尊重するとともに、社会保険等の法定福利費などの必要経費を適切に考慮するように努めること。

15　産業廃棄物の処理に係る税について

この契約に係る工事で発生する建設廃棄物のうち、鳥取県、岡山県、広島県等の産業廃棄物の処理に係る税条例を施行している自治体内に搬入する建設廃棄物については、産業廃棄物の処理に係る税が課税される場合があるので適切に処理すること。

16　コンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比

コンクリート構造物の耐久性を向上させるため、一般環境条件の場合のコンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては５５パーセント以下、無筋コンクリートについては６０パーセント以下とする。

17　消費税及び地方消費税の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（平成25年法律第41号）で禁止された転嫁拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

18 その他

(1) 工事施工管理資料等については簡略化名称を使用できることとする。ただし、略称については、発注者と協議の上重複しないよう注意し、また、わかりやすく簡単なものとする。

(2) コンクリート構造物については、「コンクリート構造物ひびわれ抑制対策指針」に基づき施工するものとする。

(3) 建設副産物のリサイクル、熱帯木材型枠の削減等、環境対策について積極的に取り組むこと。

(4) 労務費については、法定労働時間週40時間を考慮したものとしている。

(5) 受注者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、受注者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）においても同様の義務を負う旨を定めなければならない。

(6) 舗装単独工事（アスファルト）においては、表層工、基層工及び上層路盤工を自社施工しなければならない。ただし、表層工、基層工及び上層路盤工であっても特殊工法部分についてはこの限りでない。

(7) 契約書第25条第5項の対応については、国土交通省「工事請負契約書第26条第5項（単品スライド条項）運用マニュアル（案）」に基づき請求を行うこと。なお当マニュアル中「工事請負契約書第26条」とあるのは「米子市建設工事請負契約書第25条」と読み替えるものとする。

契約書第25条第6項の対応については、国土交通省「賃金等の変動に対する工事請負契約書第25条第6項（インフレスライド条項）運用マニュアル（暫定版）」に基づき請求を行うこと。

現　場　説　明　書

令和６年６月１日改正
特記事項１

仕様書	本工事の施工に当たっては、契約日現在の次に掲げる仕様書等によること。 ・ 鳥取県土木工事共通仕様書　・ 鳥取県土木工事施工管理基準　・	
工程	①（他工事等との調整） ~~②（部分完成、着工保留）~~ ③（施工時間） ~~④（余裕期間設定工事）~~ ~~⑤（鋼材の調達の遅れによる工期の延長）~~ ⑥（週休２日工事）	本工事については、大山広域農道中の橋補修工事その２と関連するので相互の連絡を密にすること。 については、まで（ すること ・ しないこと ）。 本工事の施工時間は、８：30 ～ 17：00とする。 本工事は、米子市余裕期間設定工事に係る実施要領（令和３年４月１日施行）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 工期については、調達公告のとおりとする。 この工事の工期には、鋼材調達期間として、か月を見込んでいるが、請負者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。 本工事は、米子市週休２日工事実施要領（土木工事）（令和３年４月１日施行）の対象工事である。本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休２日工事を実施すること。
用地関係	~~①（用地・物件等未処理）~~	本工事区間の には があるので、監督員と打合わせのうえ施工を行うこと。 なお、 頃 の予定である。
支障物件	①（埋設物等の事前調査） ~~②（支障物件）~~ ~~③（立木の置き場所）~~	工事にかかる地下埋設物等の事前調査については、［ ~~未調査~~・調査済み ］である。 の施工に当って、 が支障となっているが、 までに移設が完了する見込みである。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。 工事用地内の立木は伐採し、 に置くこと。
公害対策	①（騒音振動対策）	「建設工事にともなう騒音振動対策技術指針」を順守すること。 本工事の施工に当っては、排出ガス対策型建設機械を使用すること。
安全対策	①（交通安全施設等）	一般交通等に支障を及ぼさないよう十分に注意して施工すること。 なお、交通整理の必要日数日を見込んでいる。配置人員として、交通誘導員Ａを合計名（交代要員[有・無]）、交通誘導員Ｂを合計名（交代要員[有・無]）を見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員Ａ、交通誘導員Ｂの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Ａとは、警備業法第２条第４号に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第１条第４号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る１級検定合格警備員又は２級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Ｂとは、警備業法第２条第３項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員Ａ以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第１４条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Ｂを配置しているとみなす。
排水処理濁水	①（濁水処理）	工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。 なお、これにより難い場合は別途協議すること。

現　場　説　明　書

特記事項２

建設副産物の処理

【建設発生土（処理）】

~~①（他工事等流用）~~

建設発生土は＿＿＿＿市・町・村＿＿＿＿＿＿地内の＿＿＿＿＿＿工事現場に運搬（片道運搬距離＿＿＿＿km）するものとする。

~~②（建設技術センター）~~

建設発生土は＿＿＿＿市・町・村＿＿＿＿＿＿地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離＿＿＿＿km）するものとする。なお、処理費として、１m³当たり円をセンターに支払うこと。

~~③（民間残土受入地）~~

建設発生土は＿＿＿＿市・町・村＿＿＿＿＿＿地内の＿＿＿＿＿＿に運搬（片道運搬距離＿＿＿＿km）するものとする。なお、処理費として、１m³当たり＿＿＿＿＿＿円を＿＿＿＿＿＿に支払うこと。

~~④（土質改良プラント）~~

建設発生土は ＿＿＿＿市･町･村 ＿＿＿＿地内の＿＿＿＿ に運搬（片道運搬距離＿＿＿km）するものとする。なお、処理費として１m³当り＿＿＿＿ 円を＿＿＿＿ に支払うこと。

【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】

⑤（分別解体等）

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表のとおりとする。

なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。

コンクリート塊１m³当り＿＿＿＿円

アスファルト塊１m³当り＿＿＿＿円

建設発生木材　１m³当り＿＿＿＿＿＿円

~~⑥（他工事等流用）~~

［Co 雑割材・＿＿＿＿＿＿］は、＿＿＿＿市・町・村＿＿＿＿＿地内＿＿＿＿工事現場に運搬（片道運搬距離＿＿＿＿km）するものとする。

⑦（再資源化施設への搬出）

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。

再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。

なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。

（施設の名称・受入れ費用）

コンクリート塊　米子　市・~~町・村~~　淀江町稲吉　地内の　㈱大協組

（運搬距離　5.0　km）、費用１t 当り　800　円

アスファルト塊　＿＿＿＿市・~~町・村~~＿＿＿＿＿＿地内の＿＿＿＿＿＿

（運搬距離＿＿＿＿km）、費用１t 当り＿＿＿＿円

建設発生木材　＿＿＿＿市・町・村＿＿＿＿地内の＿＿＿＿＿＿

（運搬距離＿＿＿＿km）、費用１t 当り＿＿＿＿円

その他（　　）＿＿＿＿市・町・村＿＿＿＿地内の＿＿＿＿＿＿

（運搬距離＿＿＿＿km）、費用１t 当り＿＿＿＿円

（受入れ時間帯）

８時～１７時（平日）

（受入れ条件）

ア　路盤材、土砂、金属片等が、混入していないこと。

イ　コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm 以下であること。

ウ　建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径＿＿＿＿cm 以下、長さ＿＿＿＿m以下であること。

エ　２次公害発生の恐れがある物質（廃油等）を含まないこと。

~~⑧（木材市場等へ売却）~~

建設発生木材は＿＿＿＿市・町・村＿＿＿＿＿＿地内の＿＿＿＿＿への搬出（片道運搬距離＿＿＿＿km）を想定し、＿＿＿＿円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合は理由を付して協議すること。

~~⑨（最終処理等）~~

＿＿＿＿＿＿については、＿＿＿＿市・町・村　＿＿＿＿＿地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離＿＿＿＿km）を想定し、その費用として１t 当たり＿＿＿＿＿＿円を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。

産業廃棄物処理業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。

~~⑩（産業廃棄物の処理に係る税）~~

産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を＿＿＿＿円見込んでいる。

現　場　説　明　書

特記事項３

建設副産物の使用	~~①（建設発生土の使用）~~ ~~②（再生資材の使用）~~	＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿工事から〔当該工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿に使用する。 1)　Ｃｏ雑割材は、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿工事から運搬し、 使用箇所：＿＿＿＿＿＿＿に使用する。 2)　アスファルト・コンクリート切削殻は、＿＿＿＿＿＿＿＿＿工事から運搬し、 使用箇所：＿＿＿＿＿＿＿に使用する。 3)・再生クラッシャーラン〔規格：　　〕は、 使用箇所：＿＿＿＿＿＿＿に使用する。 ・再生コンクリート砂〔規格：ＲＳ－　　〕は、 使用箇所：＿＿＿＿＿＿＿に使用する。 4)　再生加熱アスファルト混合物〔規格：　　〕は、 使用箇所：＿＿＿＿＿＿＿に使用する。 5)　その他再生資材〔資材名：　　〕〔規格：　　〕は、 使用箇所：＿＿＿＿＿＿＿に使用する。
工事用道路	①（農地の一時転用について） ~~②（農地の賃貸借）~~	本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第５条第１項に基づく農地一時転用の許可を得ること。 【令和５年４月１日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。（該当がなければ記載を削除）】 受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、所轄農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。 ア　＿＿＿の用途に使用するため、＿＿＿市・町・村＿＿＿番地を賃貸借すること。 イ　土地賃貸借契約書に「米子市との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は米子市が有することとし、原状復旧の責は米子市が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。 ウ　賃貸人に賃貸借料を支払うこと。 エ　工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。 オ　イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。
仮設備		

現　場　説　明　書

特記事項４

その他

①（労災補償に必要な保険の付保）

本工事において、請負者は労災補償に必要な任意の保険契約を締結すること。なお、この労災補償に必要な保険契約の保険料を予定価格に反映している。

②（現場環境改善）

本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と〔する・~~しない~~〕。

下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに１実施内容ずつ（いずれか１項目のみ２実施内容）の合計５つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。

実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。

地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。

１内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。

計上費目	実施内容
仮設備関係	１．用水・電力等の供給設備，２．緑化・花壇 ３．ライトアップ施設，４．見学路及び椅子の設置 ５．昇降設備の充実，６．環境負荷の低減
営繕関係	１．現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） ２．労働者宿舎の快適化 ３．デザインボックス（交通誘警備員待機室） ４．現場休憩所の快適化 ５．健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	１．工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） ２．盗難防止対策（警報機等） ３．避暑（熱中症予防）・防寒対策
地域連携	１．完成予想図，２．工法説明図，３．工事工程表 ４．デザイン工事看板（各工事ＰＲ看板含む） ５．見学会等の開催（イベント等の実施含む） ６．見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 ７．パンフレット・工法説明ビデオ ８．地域対策費等（地域行事等の経費を含む） ９．社会貢献
防災・危機管理関係（港湾・漁港事業）	１．防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）

低圧注入工の注入材数量について

ひび割れ補修工(低圧注入工法)の注入材数量については，以下のとおりとする。

当初時点：延長×幅×想定深さ×(1＋ロス率)

※ロス率：0.20

変更時点：実績数量(実注入量＋注入器に残った量)

※明示する項目を＿＿＿＿部分に記入又は追記し、不要部分は――で削除して使用すること。

別表3　　（A4）

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等（土木工事等）

分別解体等の計画等

工作物の構造 （解体工事のみ）		□鉄筋コンクリート造　□その他（　　）	
工事の種類		□新築工事　☑維持・修繕工事　□解体工事 □電気　□水道　□ガス　□下水道　□鉄道　□電話 ☑その他（　橋りょう保全対策工事　　）	
使用する特定建設資材の種類 （新築・維持・修繕工事のみ）		□コンクリート　☑コンクリート及び鉄から成る建設資材 □アスファルト・コンクリート　□木材	
工作物に関する調査の結果	工作物の状況	築年数＿＿＿年 その他（　　）	
	周辺状況	周辺にある施設　□住宅　□商業施設　□学校 □病院　□その他（　　） 敷地境界との最短距離　約＿1.0＿m その他（　　）	
工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容		工作物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容
	作業場所	作業場所　☑十分　□不十分 その他（　　）	
	搬出経路	障害物　□有（　　）　☑無 前面道路の幅員　約＿7.0＿m 通学路　□有　☑無 その他（　　）	
	特定建設資材への付着物（解体・維持・修繕工事のみ）	□有 （　　） ☑無	
	他法令関係（解体・維持・修繕工事のみ）　石綿（大気汚染防止法・安全衛生法石綿則）	□有 特定建設資材への付着（　□有　　□無　） ☑無	
	その他		

工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法（解体工事のみ）
	①仮設	仮設工事　□有　☑無	□　手作業 □　手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事　□有　☑無	□　手作業 □　手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事　□有　☑無	□　手作業 □　手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事　□有　☑無	□　手作業 □　手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事　□有　☑無	□　手作業 □　手作業・機械作業の併用
	⑥その他　（　構造物撤去工　）	その他の工事　☑有　□無	□　手作業 □　手作業・機械作業の併用
工事の工程の順序 （解体工事のみ）		□上の工程における⑤→④→③の順序 □その他（　　） その他の場合の理由（　　）	
工作物に用いられた建設資材の量の見込み（解体工事のみ）		トン	

廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み（全工事）並びに特定建設資材が使用される工作物の部分（新築・維持・修繕工事のみ）及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分（維持・修繕・解体工事のみ）	種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分（注）
		☑コンクリート塊	2トン	□①　□②　□③　□④ □⑤　☑⑥
		□アスファルト・コンクリート塊	トン	□①　□②　□③　□④ □⑤　□⑥
		□建設発生木材	トン	□①　□②　□③　□④ □⑤　□⑥
	（注）　①仮設　②土工　③基礎　④本体構造　⑤本体付属品　⑥その他			

備考

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

積 算 参 考 資 料

積算参考資料は、工事目的物を完成させるための手段を拘束するものではありません。

総 括 情 報 表

事務所	54 米子市
設計書名	設計書　　当初　06-******-00001-10
変更回数	0
事業名	
適用単価区分	1　実施単価
適用単価地区	30 米子市
単価適用日	00-06.08.10(0)
諸経費体系	1　公共
ファイル名	

	当　世　代	前　世　代		当　世　代	前　世　代
工種	38　橋梁保全工事				
現場環境改善費	01　率計上する（地方部）				
施工地域	19　補正なし				
緊急工事	00　通常工事　０％				
契約保証区分	01　金銭保証（０．０４％）				
豪雪割増	01　豪雪割増あり				
工期算定区分	01　算出する				
週休二日補正係数	12　月単位の週休２日				

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
本工事費					X1000
橋梁保全工事		一式			Y1G03　(ﾚﾍﾞﾙ1)
橋梁補修工		一式			Y1G0324　(ﾚﾍﾞﾙ2)
ひび割れ補修工		一式			Y1G032404　(ﾚﾍﾞﾙ3)
低圧注入工法		構造物			Y1G03240402 (ﾚﾍﾞﾙ4)
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長１５０m	1	構造物			S1020037　00 A=150,B=1,C=23.0,D=2,E=13.5,F=3,G=601 単第0 -0001　表　060810
断面修復工		一式			Y1G032405　(ﾚﾍﾞﾙ3)
左官工法		構造物			Y1G03240501 (ﾚﾍﾞﾙ4)
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積０．７５m3	1	構造物			S1020041　00 A=0.75,B=4,C=1.22 単第0 -0002　表　060810

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)	1	m3			SPK23040152 00 A=1,B=1,C=1,D=25,E=1 単第0 -0003 表 060810
投棄料		一式			#0041 C=投棄料
処分費 コンクリート殻（無筋）	2	t			W0001
表面被覆工		一式			Y1G032406 (ﾚﾍﾞﾙ3)
下地処理工 土木コスト情報	94	㎡			W0001
含浸材塗布工	94	㎡			V0001 00 単第0 -0004 表 060810
足場		m2			Y1G03240606 (ﾚﾍﾞﾙ4)
吊足場 TYPE A1 桁高h＜1.5 現場環境条件による補正：1.0	318	㎡			V2001 00 単第0 -0005 表 060810
床面シート張防護工 現場環境条件による補正：1.0	318	㎡			V2003 00 単第0 -0006 表 060810

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
朝顔 両側　シート+板張防護 現場環境条件による補正：1.0	132	㎡			V2002　00 単第0 -0007　表　060810
手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場 単管足場 安全ネット設置 P1橋脚	65	掛m2			S0380　00 A=2,B=2 単第0 -0008　表　060810
＊＊直接工事費＊＊					
現場環境改善費					Z0012
共通仮設費					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費					
＊＊工事原価＊＊					

本工事費　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊					
＊＊工事費計＊＊					

ひび割れ補修工(低圧注入工法)　S1020037

施 工 単 価 表

単第0 -0001　表

補修延べ延長１５０m　1　構造物　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	8.700	人			RTPC00009 9
特殊作業員	14.400	人			RTPC00001 9
普通作業員	10.650	人			RTPC00002 9
ひび割れ注入材 エポキシ樹脂3種	23.000	kg			F0000000001 県単価
シール材 エポキシ樹脂系	18.495	kg			F0000000002 県単価
低圧注入器具	601.000	個			F0000000003 見積
諸雑費	6	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	構造物			

A=150　1構造物当り補修延べ延長(m/構造物)
C=23　注入材の必要数量(kg/構造物)
E=13.5　シール材の設計数量(kg/構造物)
B=1　【F】注入材(kg)
D=2　【F】シール材(kg)
F=3　【F】低圧注入器具(個)
G=601　低圧注入器具の必要数量(個/構造物)

土木一般世話役 = L / 10 * D2 = 150.000000000 / 10 * 0.58 = 8.700(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め
特殊作業員 = L / 10 * D2 = 150.000000000 / 10 * 0.96 = 14.400(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め
普通作業員 = L / 10 * D2 = 150.000000000 / 10 * 0.71 = 10.650(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め
シール材の材料使用数量 = 設計数量(kg) * (1 + ロス率) = 13.500000000 * (1 + 0.37) = 18.495(kg) 小数第4位四捨五入小数第3位止め

施 工 単 価 表

断面修復工(左官工法)　S1020041　単第0 -0002　表

(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)　修復延べ体積０．７５m3　1　構造物　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	17.250	人			RTPC00009 9
特殊作業員	28.500	人			RTPC00001 9
普通作業員	18.750	人			RTPC00002 9
ポリマーセメントモルタル	1.440	m３			F0000000004 県単価
諸雑費	11	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	構造物			
A=0.75　1構造物当り修復延べ体積(m3/構造物) C=1.22　断面修復材の設計数量(m3/構造物)			B=4　【F】断面修復材(m3)		
土木一般世話役 = V / 0.1 * D2 = 0.750000000 / 0.1 * 2.3 = 17.250(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 特殊作業員 = V / 0.1 * D2 = 0.750000000 / 0.1 * 3.8 = 28.500(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 普通作業員 = V / 0.1 * D2 = 0.750000000 / 0.1 * 2.5 = 18.750(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					
断面修復材の使用数量 = 設計数量(m3) * (1 + ロス率) = 1.220000000 * (1 + 0.18) = 1.440(m3) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

殻運搬　　SPK23040152

施 工 単 価 表

単第0 -0003　表

Co(無筋)構造物とりこわし　　DID区間無し　運搬距離5.7km以下(3.3km超)　　1　m3　当り

機械構成比：　42.35%　労務構成比：　42.40%　材料構成比：　15.25%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	42.35%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	42.40%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	15.25%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　Co(無筋)構造物とりこわし C=1　DID区間無し E=1　-(全ての費用)			B=1　機械積込 D=25　運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

含浸材塗布工　　V0001

施 工 単 価 表

単第0 -0004　表

1　㎡　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
含浸材塗布	1	㎡			W0001 土木コスト情報
高分子系浸透性防水材	0.25	kg			W0001 見積
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	㎡			

施 工 単 価 表

吊足場　　V2001　　単第0 -0005　表

TYPE　A1　　桁高h＜1.5　　現場環境条件による補正：1.0　　1　　㎡　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう特殊工	0.130	人			RTPC00020
足場損料	1.0	ヶ月			W0001
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	㎡			

床面シート張防護工　V2003

施 工 単 価 表

単第0 -0006　表

現場環境条件による補正：1.0　1　㎡　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう特殊工	0.007	人			RTPC00020
足場損料	1.0	ヶ月			W0001
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	㎡			

朝顔　　V2002

施 工 単 価 表

単第0 -0007　表

両側　シート+板張防護　　現場環境条件による補正：1.0　　1　㎡　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう特殊工	0.156	人			RTPC00020
足場損料	0.2	ヶ月			W0001
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	㎡			

施 工 単 価 表

手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場　S0380　単第0 -0008　表

単管足場　安全ネット設置　P1橋脚　100　掛m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.900	人			RTPC00009 9
とび工	8.400	人			RTPC00004 安全ネット設置含む 9
普通作業員	1.800	人			RTPC00002 9
<賃>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊 オペレータ付	0.800	日			KTPC00014 長期割引適用外 9
諸雑費	27	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	掛m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	掛m2			
A=2 単管足場 C=0 潮待割増			B=2 安全ネットを設置する		
潮待作業割増なし					

工事数量集計表

工種区分	工　　種	種　　別	細　　別	規　　格	単位	数　　量		摘　　要
						当初	変更	
橋梁保全工事								
	橋梁補修工							
		ひび割れ補修工	ひび割れ注入工	エポキシ樹脂3種	m	150.3		
				注入材	kg	23.0		
				シール材	kg	18.5		
				低圧注入器具	個	601		
		断面修復工	左官工法	ポリマーセメントモルタル	m^3	0.75		鉄筋ケレン・防錆処理含む
				断面修復材	kg	1440.10		
			殻運搬	コンクリート殻	m^3	1		
			殻処理	コンクリート殻	t	2		
		表面処理工	表面含浸工	高分子系浸透性防水材	m^2	93.8		
	仮設工							
		足場工	桁補修足場	シート＋両側施工	m^2	318.3		吊足場
			地覆補修足場	シート＋両側施工	m^2	131.8		朝顔足場
			橋脚補修足場		掛m^2	64.9		単管足場

工種別集計表　　ひび割れ補修工　　集 計 表

種　別	細　別	規　格	単位	数　量	摘　要
ひび割れ補修工					
	ひび割れ注入工	エポキシ樹脂系	m	150	
		注入材	kg	23.0	
		シール材	kg	18.5	
		低圧注入器具	個	601	

(1) エポキシ樹脂系ひび割れ注入工数量表

橋面

損傷種別	部材	損傷No.	損傷数量		備　　考
			延長(m)	幅(mm)	
ひびわれ 0.2mm以上1.0未満	1径間　地覆上面（左車線）	緑C1	0.36	0.70	
		緑C2	0.10	0.70	
		緑C3	0.10	0.70	
		緑C4	1.00	0.70	
		緑C5	0.39	0.20	
	1径間　地覆上面（右車線）	緑C6	0.29	0.80	
	2径間　地覆上面（左車線）	緑C7	0.56	0.50	
		緑C8	0.14	0.50	
		緑C9	0.13	0.50	
		緑C10	0.10	0.70	
		緑C11	0.18	0.70	
	2径間　地覆上面（右車線）	緑C12	0.42	0.20	
		緑C13	0.27	0.20	
		緑C14	0.17	0.40	
		緑C15	0.32	0.90	
		緑C16	0.35	0.50	
		緑C17	0.07	0.70	
		緑C18	0.19	0.70	
		緑C19	0.17	0.70	
		緑C20	0.07	0.70	
		緑C21	0.50	0.80	
		緑C22	0.21	0.80	
		緑C23	0.15	0.80	
		緑C24	0.07	0.80	
	ひびわれ0.2以上1.0未満合計		6.31	0.62	
ひびわれ 1.0mm以上5.0mm未満	1径間　地覆上面（左車線）	青C1	1.34	2.50	
		青C2	0.54	2.50	
		青C3	0.93	1.00	
		青C4	1.50	2.00	
		青C5	1.57	1.20	
		青C6	0.45	1.00	
		青C7	1.03	1.50	
	1径間　地覆上面（右車線）	青C8	0.18	1.00	
		青C9	0.51	3.00	
		青C10	0.13	3.00	
		青C11	0.42	1.00	
		青C12	1.32	2.20	
		青C13	0.32	1.70	
		青C14	1.58	2.50	
		青C15	1.41	2.50	
		青C16	1.30	1.00	

損傷種別	部材	損傷No.	損傷数量		備　　考
			延長(m)	幅(mm)	
ひびわれ 1.0mm以上5.0mm未満	2径間　地覆上面（左車線）	青C17	0.44	1.50	
		青C18	0.14	1.50	
		青C19	0.19	1.00	
		青C20	0.65	1.00	
		青C21	0.39	1.00	
		青C22	1.38	1.50	
		青C23	0.41	1.20	
		青C24	0.98	1.50	
		青C25	0.69	1.50	
		青C26	0.26	1.50	
		青C27	0.69	1.50	
		青C28	0.21	1.80	
		青C29	0.93	1.80	
		青C30	0.21	1.80	
		青C31	1.00	1.40	
	2径間　地覆上面（右車線）	青C32	0.08	1.00	
		青C33	1.21	1.20	
		青C34	0.11	1.20	
		青C35	0.27	2.00	
		青C36	1.46	2.00	
		青C37	0.61	1.50	
		青C38	1.67	2.00	
		青C39	0.08	2.00	
		青C40	1.01	1.50	
		青C41	1.07	1.50	
		青C42	1.78	1.20	
		青C43	1.70	1.20	
	ひびわれ1.0mm以上5.0mm未満合計		34.15	1.25	

床版下面

損傷種別	部材	損傷No.	損傷数量		備　　考
			延長(m)	幅(mm)	
ひびわれ 0.2mm以上1.0未満	1径間　床版01	緑C1	0.83	0.25	
	2径間　床版02	緑C2	0.98	0.20	
	2径間　床版03	緑C3	0.82	0.20	
		緑C4	2.05	0.25	
	ひびわれ0.2＜0.3mm以下合計		4.68	0.23	

P1橋脚

損傷種別	部材		損傷No.	損傷数量		備　　考
				延長(m)	幅(mm)	
ひびわれ 0.2mm以上1.0未満	梁部	下面 (左車線)	緑C1	0.10	0.30	
			緑C2	0.51	0.30	
			緑C3	0.47	0.30	
			緑C4	0.49	0.80	
			緑C5	1.19	0.80	
			緑C6	0.75	0.20	
			緑C7	0.32	0.20	
			緑C8	0.47	0.20	
			緑C9	1.48	0.70	
			緑C10	0.27	0.70	
			緑C11	1.51	0.75	
			緑C12	0.20	0.75	
	台座	G1-G2	緑C13	0.26	0.60	
			緑C14	0.48	0.60	
			緑C15	0.66	0.40	
			緑C16	0.79	0.60	
			緑C17	0.38	0.50	
			緑C18	0.24	0.50	
			緑C19	0.15	0.70	
			緑C20	0.73	0.60	
			緑C21	0.27	0.70	
		G2-G3	緑C22	0.29	0.30	
ひびわれ 0.2mm以上1.0未満	台座	G2-G3	緑C23	0.92	0.70	
			緑C24	0.31	0.40	
			緑C25	0.59	0.40	
			緑C26	0.26	0.30	
			緑C27	0.15	0.50	
		右車線	緑C28	0.21	0.30	
			緑C29	0.16	0.50	
			緑C30	0.10	0.40	
	梁部	下面 (右車線)	緑C31	0.79	0.20	
			緑C32	0.53	0.30	
			緑C33	0.58	0.20	
			緑C34	0.37	0.30	
		左側面	緑C35	0.12	0.30	
			緑C36	0.32	0.30	
			緑C37	0.22	0.30	
			緑C38	0.38	0.30	
			緑C39	0.33	0.50	
			緑C40	0.25	0.60	
			緑C41	0.65	0.30	
	柱部	左側面	緑C42	0.51	0.50	
	橋脚正面	起点側	緑C43	0.30	0.40	

P1橋脚

損傷種別	部材		損傷No.	損傷数量		備　　考
				延長(m)	幅(mm)	
ひびわれ 0.2mm以上1.0未満	橋脚正面	起点側	緑C44	0.25	0.30	
			緑C45	0.20	0.20	
			緑C46	0.23	0.20	
			緑C47	0.17	0.90	
			緑C48	0.28	0.20	
			緑C49	0.16	0.20	
			緑C50	0.42	0.50	
			緑C51	0.45	0.30	
			緑C52	0.51	0.30	
			緑C53	0.43	0.20	
			緑C54	0.25	0.30	
			緑C55	0.32	0.30	
			緑C56	0.20	0.70	
			緑C57	0.15	0.20	
			緑C58	0.39	0.30	
			緑C59	0.24	0.40	
			緑C60	0.20	0.50	
			緑C61	0.13	0.50	
			緑C62	0.86	0.60	
			緑C63	0.55	0.50	
			緑C64	0.66	0.30	
			緑C65	0.46	0.20	
			緑C66	0.44	0.30	
			緑C67	0.60	0.30	
			緑C68	0.46	0.20	
			緑C69	0.54	0.30	
ひびわれ 0.2mm以上1.0未満	橋脚正面	起点側	緑C70	0.65	0.30	
			緑C71	1.25	0.30	
			緑C72	0.73	0.20	
			緑C73	0.70	0.50	
			緑C74	0.37	0.80	
			緑C75	0.45	0.20	
			緑C76	0.35	0.30	
			緑C77	0.30	0.30	
			緑C78	0.32	0.20	
			緑C79	0.07	0.20	
			緑C80	1.61	0.70	
			緑C81	0.32	0.50	
			緑C82	0.37	0.20	
			緑C83	1.45	0.30	
			緑C84	0.58	0.30	
			緑C85	0.37	0.25	
			緑C86	0.75	0.20	
			緑C87	0.39	0.30	
			緑C88	2.34	0.50	

P1橋脚

損傷種別	部材		損傷No.	損傷数量		備　　考
				延長(m)	幅(mm)	
ひびわれ 0.2mm以上1.0未満	橋脚正面	起点側	緑C89	0.96	0.50	
			緑C90	0.28	0.30	
			緑C91	0.21	0.50	
			緑C92	0.56	0.50	
			緑C93	0.57	0.80	
			緑C94	0.34	0.50	
			緑C95	1.63	0.80	
			緑C96	0.17	0.50	
			緑C97	0.14	0.30	
			緑C98	1.00	0.90	
			緑C99	0.67	0.20	
			緑C100	1.67	0.20	
			緑C101	1.30	0.80	
			緑C102	0.05	0.50	
			緑C103	0.82	0.20	
			緑C104	0.24	0.20	
			緑C105	0.76	0.30	
			緑C106	0.35	0.30	
			緑C107	0.50	0.20	
			緑C108	0.62	0.20	
	梁部	右側面	緑C109	0.24	0.50	
			緑C110	0.12	0.50	
			緑C111	0.08	0.40	
			緑C112	0.18	0.50	
			緑C113	0.84	0.30	
			緑C114	0.65	0.30	
			緑C115	0.16	0.20	
	柱部		緑C116	0.07	0.50	
	柱部	右側面	緑C117	0.92	0.30	
			緑C118	1.06	0.50	
			緑C119	0.96	0.30	
			緑C120	0.87	0.30	
			緑C121	0.85	0.30	
			緑C122	0.31	0.30	
			緑C123	0.35	0.20	
			緑C124	0.36	0.20	
			緑C125	0.72	0.40	
	橋脚正面	終点側	緑C126	0.82	0.50	
			緑C127	0.18	0.20	
			緑C128	0.29	0.50	
			緑C129	1.03	0.50	
			緑C130	0.49	0.30	
			緑C131	0.79	0.30	
			緑C132	0.61	0.40	
			緑C133	0.87	0.40	
			緑C134	2.52	0.50	

P1橋脚

損傷種別	部材		損傷No.	損傷数量		備　　考
				延長(m)	幅(mm)	
ひびわれ 0.2mm以上1.0未満	橋脚正面	終点側	緑C135	0.83	0.80	
			緑C136	0.59	0.80	
			緑C137	0.76	0.20	
	橋脚正面	終点側	緑C138	0.60	0.20	
			緑C139	0.61	0.90	
			緑C140	0.46	0.90	
			緑C141	0.46	0.80	
			緑C142	0.08	0.20	
			緑C143	1.02	0.80	
			緑C144	0.37	0.50	
			緑C145	0.44	0.20	
			緑C146	1.04	0.50	
			緑C147	0.13	0.50	
			緑C148	1.15	0.80	
			緑C149	0.47	0.20	
			緑C150	0.49	0.50	
			緑C151	0.19	0.40	
			緑C152	3.00	0.30	
			緑C153	0.36	0.50	
	ひびわれ0.2以上1.0mm未満合計			85.21	0.42	
ひびわれ 1.0mm以上5.0mm未満	台座	左車線	青C1	0.24	1.30	
			青C2	0.23	1.30	
			青C3	0.14	1.80	
			青C4	0.28	1.80	
		G1-G2	青C5	0.65	1.50	
			青C6	0.75	1.00	
			青C7	0.60	1.00	
			青C8	0.35	2.00	
			青C9	0.27	1.20	
ひびわれ 1.0mm以上5.0mm未満	台座	G1-G2	青C10	0.44	3.00	
			青C11	0.10	1.00	
			青C12	0.22	1.80	
		G2-G3	青C13	0.46	1.20	
		右車線	青C14	0.14	1.00	
	梁部	左側面	青C15	0.35	1.80	
			青C16	0.31	1.20	
			青C17	0.28	1.20	
			青C18	0.27	1.00	
	橋脚正面	起点側	青C19	0.26	1.00	
			青C20	0.17	1.00	
			青C21	0.61	1.00	
			青C22	0.20	1.50	
			青C23	1.89	1.20	
			青C24	1.03	1.20	
			青C25	1.03	1.60	
			青C26	0.64	1.10	

P1橋脚

損傷種別	部材		損傷No.	損傷数量		備　　考
				延長(m)	幅(mm)	
ひびわれ 1.0mm以上5.0mm未満	橋脚正面	起点側	青C27	0.87	1.80	
			青C28	3.16	1.10	
		終点側	青C29	1.54	1.00	
			青C30	2.04	1.20	
			青C31	0.24	1.00	
			青C32	0.19	1.30	
	ひびわれ1.0mm以上5.0mm未満合計			19.95	1.35	

(2) 補修数量総括表

工種	平均幅 (mm)	補修延長 (m)
ひび割れ注入工法	0.77	150.3

(3) 数量計算

エポキシ樹脂系ひび割れ注入工（1橋あたり）

補修延長

L ＝ 150.3 ＝ 150.3 m

平均幅

W ＝ 0.77 ／ 1,000 ＝ 0.00077 m

注入深さ

L ＝ 0.15 （想定） ＝ 0.15 m

注入材（比重：1.1、ロス率20%）

Wt ＝ 150 × 0.00077 × 0.15 × 1,000 × 1.1 × 1.2 ＝ 23.0 kg

シール材（比重：1.5、ロス率37%）

Wt ＝ 150 × 0.0020 × 0.03 × 1,000 × 1.5 × 1.37 ＝ 18.53 kg

注入器具（0.25m間隔）

n ＝ 150 ／ 0.25 ＝ 601 個

エポキシ樹脂系ひび割れ注入工（10mあたり）

注入材（比重：1.1、ロス率20%）

Wt ＝ 10 × 0.00077 × 0.15 × 1,000 × 1.1 × 1.2 ＝ 1.53 kg

シール材（比重：1.5、ロス率37%）

Wt ＝ 10 × 0.0020 × 0.03 × 1,000 × 1.5 × 1.37 ＝ 1.23 kg

注入器具（0.25m間隔）

n ＝ 10 ／ 0.25 ＝ 40 個

断面修復工　　集 計 表

種　別	細　別	規　格	単位	数　量	摘　要
断面修復工					
	左官工法	ポリマーセメントモルタル	m^3	0.75	t=50
		断面修復材	kg	1,440.1	
	殻運搬	コンクリート	m^3	0.75	
	殻処理	コンクリート	t	1.76	

(1) 断面修復工数量表（復旧厚さ t=50mm）

橋面

損傷種別	部材	損傷No.	損傷数量			備考
			横(m)	縦(m)	面積(㎡)	
うき・剥落	1径間　地覆上面（左車線）	U1	0.30	0.30	0.090	
	1径間　地覆上面（右車線）	U2	0.65	0.15	0.098	
		U3	1.10	0.20	0.220	
		U4	0.30	0.30	0.090	
		U5	1.25	0.35	0.438	
		U6	0.30	0.10	0.030	
		U7	0.30	0.10	0.030	
	2径間　地覆側面（左車線）	U8	0.20	0.10	0.020	
	2径間　地覆上面（左車線）	U9	0.30	0.10	0.030	
	2径間　地覆上面（右車線）	U10	0.05	0.20	0.010	
	2径間　地覆側面（右車線）	U11	0.80	0.05	0.040	
	うき・剥落合計				1.095	
鉄筋・鋼材露出	1径間　地覆側面（左車線）	T1	0.05	0.05	0.003	
	1径間　地覆上面（左車線）	T2	0.10	0.05	0.005	
	1径間　地覆上面（右車線）	T3	0.40	0.10	0.040	
	2径間　地覆側面（左車線）	T4	0.10	0.05	0.005	
		T5	0.10	0.05	0.005	
		T6	0.10	0.05	0.005	
	2径間　地覆側面（右車線）	T7	0.05	0.10	0.005	
		T8	0.10	0.05	0.005	
		T9	0.05	0.05	0.003	
	鉄筋・鋼材露出合計				0.075	
豆板・表面脆弱	1径間　地覆側面（右車線）	M1	0.40	0.15	0.060	
	豆板・表面脆弱合計				0.060	

床版下面

損傷種別	部材	損傷No.	損傷数量 横(m)	損傷数量 縦(m)	損傷数量 面積(㎡)	備　　考
うき・剥落	1径間　床版03	U1	0.10	2.60	0.260	
		U2	0.10	2.50	0.250	
	1径間　床版04	U3	0.30	0.10	0.030	
		U4	1.60	0.20	0.320	
		U5	0.20	0.10	0.020	
		U6	0.20	0.10	0.020	
	2径間　床版02	U7	0.10	1.90	0.190	
	2径間　床版03	U8	0.10	3.20	0.320	
	2径間　床版04	U9	0.50	0.10	0.050	
		U10	0.20	0.10	0.020	
		U11	0.35	0.15	0.053	
		U12	0.10	0.20	0.020	
		U13	0.15	0.15	0.023	
				うき・剥落合計	1.575	
鉄筋・鋼材露出	1径間　床版01	T1	0.05	0.05	0.003	
		T2	0.05	0.05	0.003	
		T3	0.05	0.05	0.003	
	1径間　床版02	T4	0.15	0.20	0.030	
		T5	0.15	0.20	0.030	
	1径間　床版03	T6	0.10	0.10	0.010	
	2径間　床版01	T11	0.05	0.05	0.003	
		T12	0.05	0.05	0.003	
		T13	0.05	0.05	0.003	
		T14	0.05	0.05	0.003	
	2径間　床版02	T16	0.10	0.50	0.050	
		T17	0.10	0.20	0.020	
		T18	0.10	0.20	0.020	
		T19	0.10	0.30	0.030	
		T20	0.10	0.25	0.025	
		T21	0.10	0.35	0.035	
		T22	0.10	0.15	0.015	
		T23	0.10	0.17	0.017	
		T24	0.10	0.15	0.015	
		T25	0.05	0.10	0.005	
		T26	0.05	0.10	0.005	
	2径間　床版03	T30	0.10	0.25	0.025	
		T31	0.10	0.20	0.020	
		T32	0.05	0.05	0.003	
		T33	0.10	0.10	0.010	
		T34	0.10	0.10	0.010	
		T35	0.15	0.40	0.060	
		T36	0.10	0.10	0.010	
		T37	0.15	0.30	0.045	
		T38	0.10	0.30	0.030	
		T39	0.10	0.20	0.020	
				鉄筋・鋼材露出合計	0.557	

豆板・表面脆弱	1径間　床版01	M1	0.20	0.15	0.030	
		M2	0.45	0.20	0.090	
	1径間　床版02	M3	—	—	0.364	
		M4	—	—	0.277	
		M5	—	—	0.144	
	1径間　床版03	M6	—	—	0.075	
		M7	—	—	0.986	
		M8	—	—	0.267	
		M9	—	—	0.087	
		M10	—	—	0.089	
		M11	—	—	0.070	
	1径間　床版04	M12	—	—	0.721	
		M13	0.75	0.65	0.488	
		M14	0.35	0.20	0.070	
		M15	0.30	0.10	0.030	
		M16	—	—	0.231	
	2径間　床版02	M17	—	—	1.776	
		M18	—	—	0.089	
		M19	—	—	0.227	
		M20	—	—	2.818	
	2径間　床版03	M21	—	—	0.238	
		M22	—	—	0.251	
		M23	—	—	0.046	
		M24	—	—	0.435	
		M25	—	—	0.348	
	2径間　床版04	M26	0.60	0.50	0.300	
		M27	0.50	0.10	0.050	
	豆板・表面脆弱合計				10.597	

P1橋脚

損傷種別		部材	損傷No.	損傷数量			備　　考
				横(m)	縦(m)	面積(㎡)	
うき・剥落	梁部	下面（左車線）	U1	0.20	0.10	0.020	
			U2	0.15	0.03	0.005	
	台座	右車線　終点側	U3	0.80	0.10	0.080	
	橋脚正面	起点側	U4	—	—	0.027	
	柱部	右側面	U5	0.10	0.20	0.020	
	橋脚正面	終点側	U6	0.80	0.30	0.240	
			U7	1.60	0.30	0.480	
			U8	—	—	0.039	
			U9	—	—	0.035	
			U10	0.20	0.10	0.020	
	うき・剥落合計					0.966	
鉄筋・鋼材露出	梁部	下面(右車線)	T1	0.10	0.20	0.020	
	橋脚正面	起点側	T2	0.20	0.10	0.020	
	柱部	右側面	T3	0.10	0.10	0.010	
	鉄筋・鋼材露出合計					0.050	

(2) 補修数量総括表

工種	部材	損傷面積 (m^2)	復旧体積 (m^3)
左官工法	地覆(t=50)	1.230	0.062
	床版(t=50)	12.729	0.636
	P1橋脚(t=50)	1.016	0.051
計			0.749

(3) 数量計算

V ＝ 0.749 ＝ 0.75 m^3

断面修復材（ポリマーセメントモルタル 1,630kg/m^3 、ロス率18%）

Wt ＝ 0.749 × 1,630 × 1.18 ＝ 1,440.1 kg

殻運搬

V ＝ 0.749 ＝ 0.75 m^3

殻処理

Wt ＝ 0.749 × 2.35 ＝ 1.76 t

表面処理工　　集 計 表

種　別	細　別	規　格	単位	数　量	摘　要
表面処理工					
	表面含浸工	高分子系浸透性防水材	m^2	93.8	述べ施工量

(1) 数量計算

P1橋脚

橋座

A ＝ 11.23 (CAD計測) ＝ 11.23 m^2

正面（起点側）

A ＝ 23.15 (CAD計測) ＝ 23.15 m^2

正面（終点側）

A ＝ 21.13 (CAD計測) ＝ 21.13 m^2

左側面

A ＝ 6.02 ＋ 2.61 × 1.50 ＝ 9.94 m^2

(CAD計測)

右側面

A ＝ 6.11 ＋ 2.61 × 1.50 ＝ 10.03 m^2

(CAD計測)

地覆起点側　天端面

左車線

A ＝ 4.95 (CAD計測) ＝ 4.95 m^2

右車線

A ＝ 4.19 (CAD計測) ＝ 4.19 m^2

地覆終点側　天端面

左車線

A ＝ 4.58 (CAD計測) ＝ 4.58 m^2

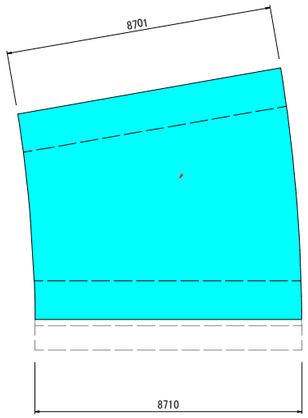
右車線

A ＝ 4.58 (CAD計測) ＝ 4.58 m^2

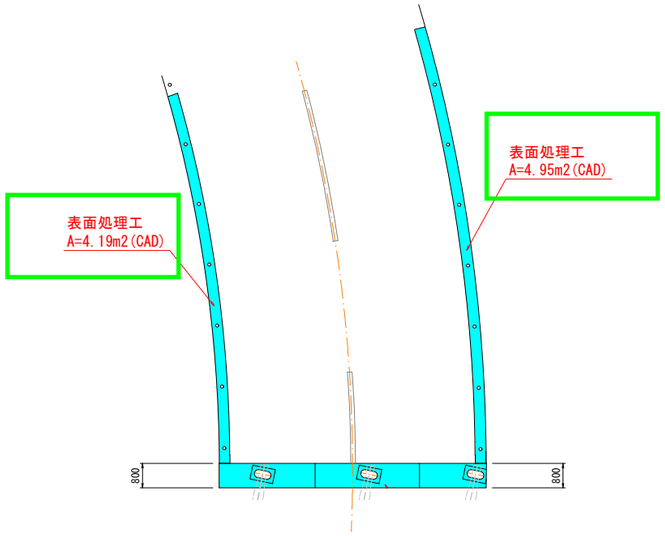
Σ ＝ 93.77 m^2

A1橋台

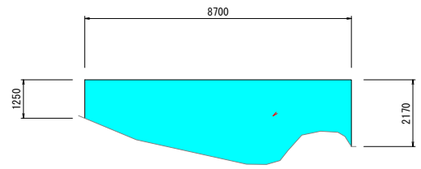
頂版



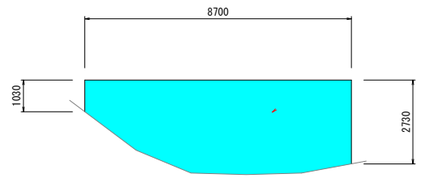
橋座



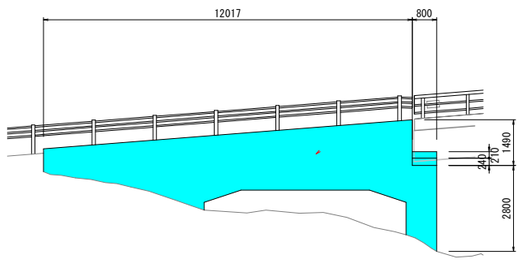
側壁図（起点側）



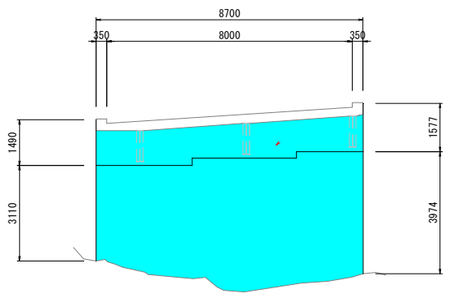
側壁図（終点側）



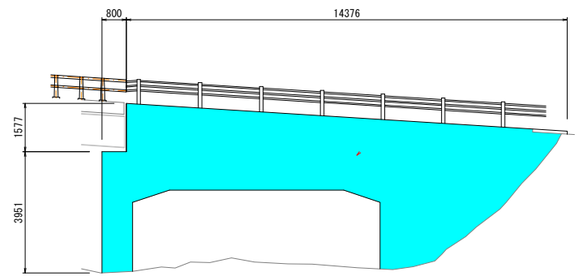
左側面図（右車線）



正面図



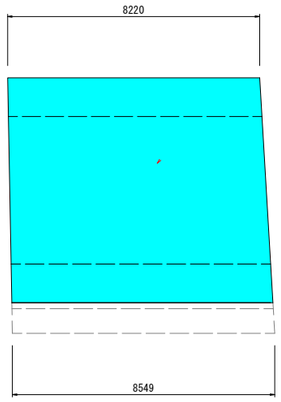
右側面図（左車線）



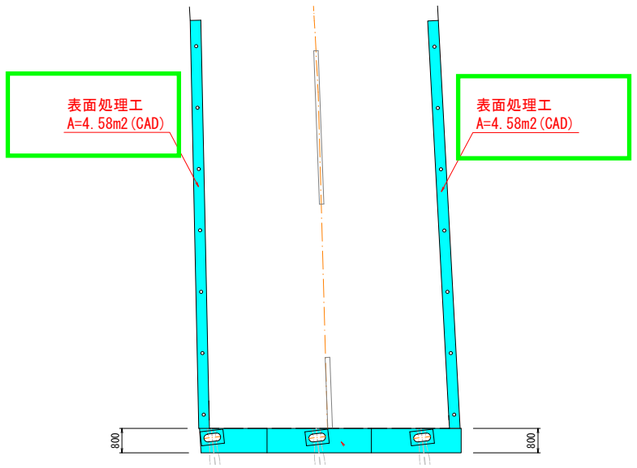
A= 4.19 + 4.95 = 9.14m2

A2橋台

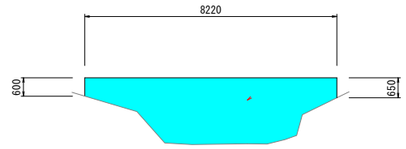
頂版



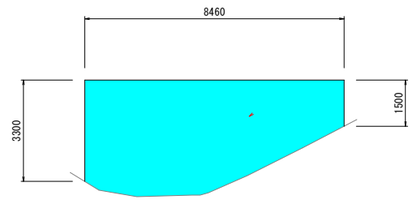
橋座



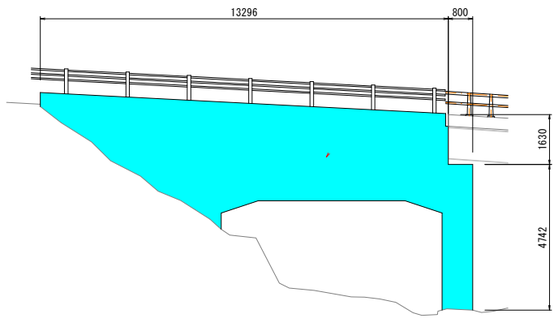
側壁図（終点側）



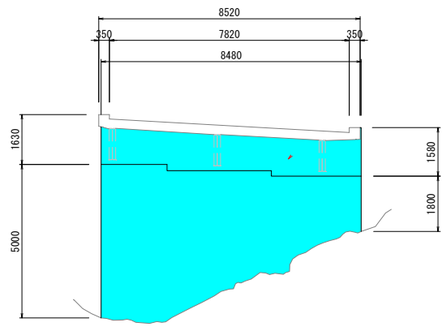
側壁図（起点側）



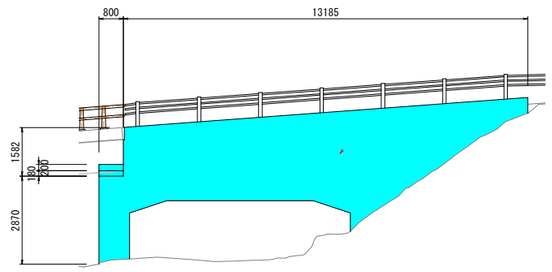
左側面図（左車線）



正面図

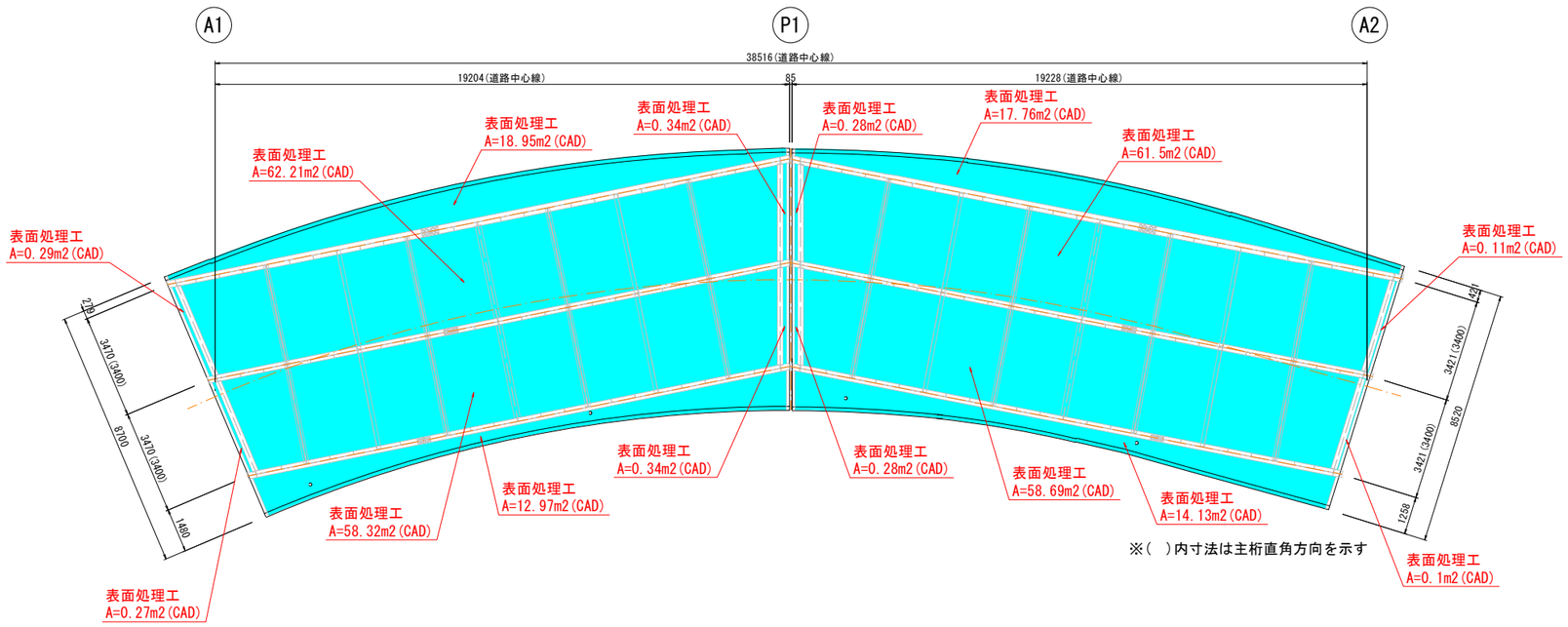


右側面図（右車線）



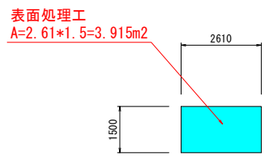
A= 4.58 + 4.58 = 9.16m2

床版下面

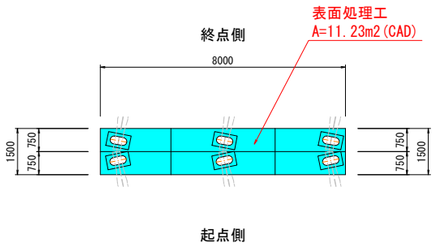


P1橋脚

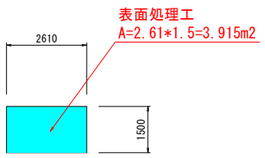
梁下面



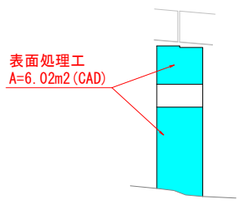
橋座



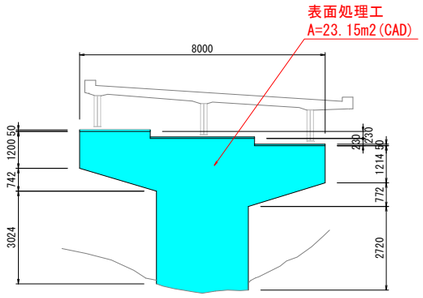
梁下面



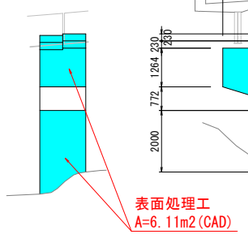
左側面図



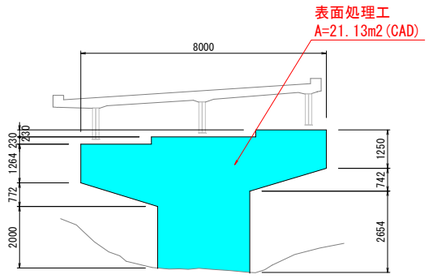
起点側　正面図



右側面図



終点側　正面図



表面処理工
P1橋脚　A=2.61*1.5+11.23+2.61*1.5+6.02+23.15+6.11+21.13=75.47m2

仮設工　　集 計 表

種　別	細　別	規　格	単位	数　量	摘　要
仮設工					
	足場工	床版・桁補修足場	m^2	318.3	吊足場
		地覆・高欄補修足場	m^2	131.8	朝顔足場
		橋脚補修足場	掛m^2	64.9	単管足場

5.11　仮設工

(1) 数量計算

床版・桁補修足場（吊足場）

A ＝ 318.25 ＝ 318.25 m^2

(CAD計測)

地覆・高欄補修足場(朝顔足場)

A ＝ 74.56 ＋ 57.2 ＝ 131.76 m^2

(CAD計測)

橋脚補修足場（単管足場）

P1橋脚　(CAD計測)

A ＝ 8.049 × 3.099 ＋ 3.549 × 3.697

＋ 3.549 × 1.389 ＋ 8.049 × 2.723 ＝ 64.91 掛m^2

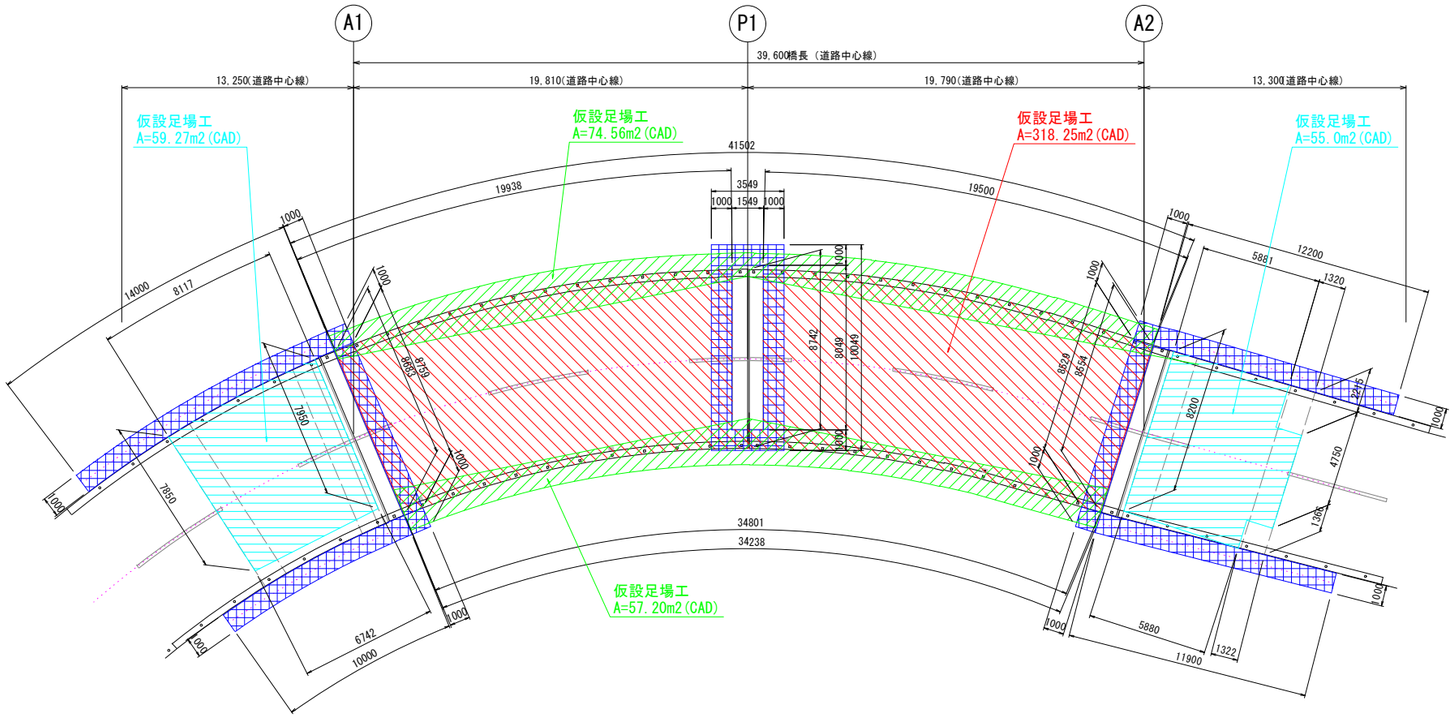
仮設足場工

床版・桁補修足場
A=318.25m2

地覆・高欄補修足場
A=74.56+57.20=131.76m2

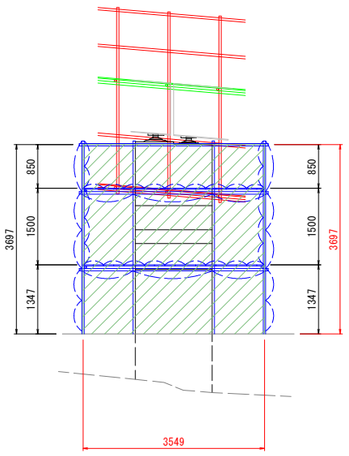
P1橋脚補修足場
A=13.12+24.94+4.93+21.92=64.91掛m2

平　面　図　S=1:150



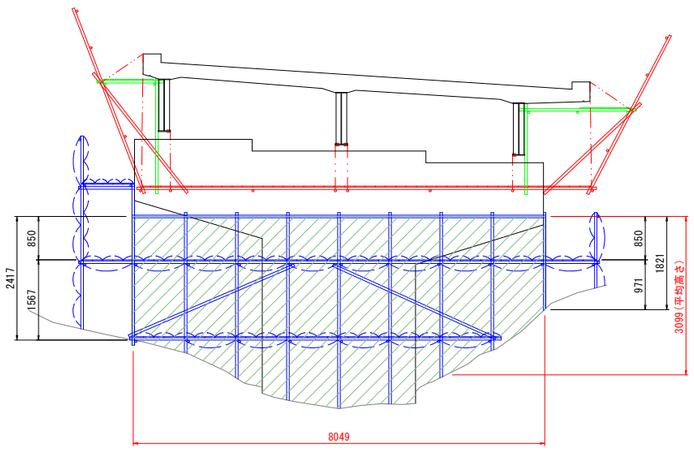
P1橋脚

左側面図



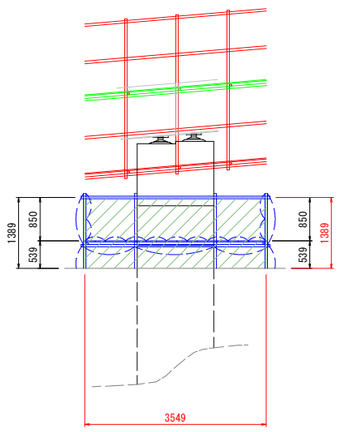
仮設足場工
A=3.549*3.697=13.12m2

起点側　正面図



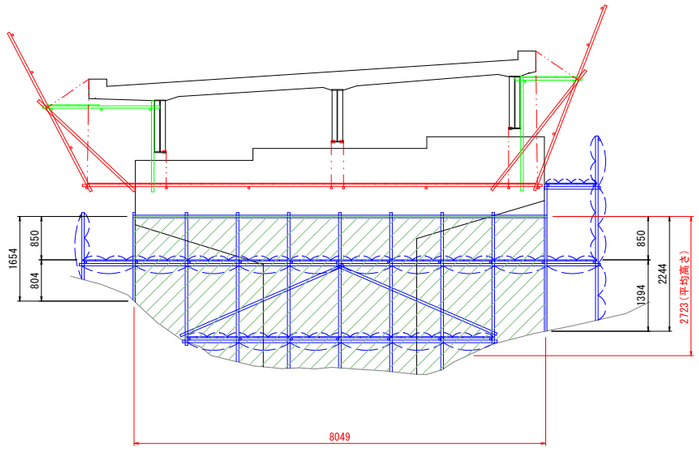
仮設足場工
A=8.049*3.099=24.94m2

右側面図



仮設足場工
A=3.549*1.389=4.93m2

終点側　正面図



仮設足場工
A=8.049*2.723=21.92m2